2023年になって早いものでもうひと月がたとうとしています。

フィンランドの冬は、これまで主にトロピカルな国々で勤務してきた私にとって、なかなか厳しいものがあるのですが、みなさんはお元気ですか。

さて、今回は、年の最初の寄稿であり、今年をみなさんが無事に過ごせるように、安全安心に関するお願いです。

日本人の読者向けの内容ですが、フィンランド語版でこれを読むフィンランドの人で、もし友人に日本人がいれば、「日本大使館のホームページにこんなことが書いてあるよ」と教えてあげて下さい。

まず、在留邦人・旅行者向けに共通の情報として、外務省海外安全ホームページ、そして当館ホームページの領事・安全情報のところに「安全の手引き」があります。これはぜひいちどチェックしておいて下さい。

海外安全ホームページ（広域情報）：https://www.anzen.mofa.go.jp/

海外安全ホームページ（フィランド）：
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_169.html#ad-image-0

安全の手引き：https://www.fi.emb-japan.go.jp/files/100149657.pdf

次に、フィンランドへ旅行に来られる方は、ぜひ「たびレジ」に登録下さい。旅行期間の間だけで結構です。これによって、大使館から緊急の情報連絡をお届けすることが出来ます：
https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html

それから、3ヶ月以上フィンランドにいる方で、まだ在留届を出していない場合は、どうぞこれを届け出て下さい。オンラインでも出せます。在留届を出された方にはご希望によりメールマガジンを配信しています：https://www.fi.emb-japan.go.jp/itpr_ja/ryoji-zairyu.html

在留邦人の方にもうひとつ、フィンランドでは緊急事態に備えて72時間分の食糧・水・衣服・薬などの整えていくように推奨されています。そして、核関連の万が一の事態が発生したら、人々はそれを持って地下のシェルターへ避難するように、当局が様々な手段で警報を出す仕組みになっています。
シェルターは一定規模の建物には設置が義務付けられています。みなさんお住いのアパートなど住居の地下にある場合も多いでしょう。もしその建物にシェルターがなければ、退避するべき公共シェルターが割り当てられています。
日本でも大きな地震に普段から防災グッズなど備えをして、また避難場所を確認しておくように、とされています。それと基本的に同じです。ただ、大きな違いは、フィンランドの避難場所(シェルター)には食糧などの備蓄はないことです。
こちらをご覧下さい：
https://72tuntia.fi/wp-content/uploads/2020/01/Home-preparedness-brochure.pdf
https://72tuntia.fi/wp-content/uploads/2020/11/Home-emergency-kit_-72-hours_A5.pdf

フィンランドは安全な国です。
一方、新型コロナの感染はまだ完全に終息したわけではなく、また国際情勢も非常に揺れ動いており先行き不透明です。
大使館は随時安全に関する情報を発信するよう努めていますが、「備えあれば憂いなし」ということで、みんなで日ごろから備えておくようにしましょう。

2023 年 1 月
駐フィンランド大使　藤村　和広

（補足）
ヘルシンキ空港から日本へ行かれる際、ワクチン接種証明書等でトラブルを避けるために、日本入国の際の注意事項を確認下さい：
https://www.fi.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00012.html